

日本放射線影響学会第57回大会

市民公開講座

10月1日(木) 18:00～20:00

A会場

1 放射線の基礎と応用 — 福島原発事故と放射線 —

富吉 勝美 熊本大学大学院生命科学研究部 医用理工学

2011年3月に発生した東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故に伴い、放射線の健康への影響や将来への不安が多くの国民の重大な関心事になっています。

- 1) 放射線・放射能の基礎
 - 2) 原子力エネルギーに伴う放射線の人体への影響
 - 3) 福島原発事故で、スクリーニングでの経験
- について1時間ほどお話しします。

2 今だからこそ考える、私たちの暮らしとエネルギー問題

石窪 奈穂美 消費生活アドバイザー・鹿児島大学非常勤講師

2011年3月11日に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故によって、日本のエネルギー環境は大きく変化してきています。現在、国内の原子力発電所は全て停止し、その代替として、老朽化した発電所も含めて火力発電所がフル稼働状態であり、トラブル発生による供給不足にもなりかねない不安定な状況です。期待されている再生可能エネルギーですが、太陽光発電の急激な伸びを鑑みてもベース電源にはなりえないのが現状です。また、石油や液化天然ガス(LNG)等資源価格の高騰をはじめ、再生可能エネルギー全量固定価格買取制度による電気料金の上昇による国民の負担や中小企業への影響も懸念されているなか、電力自由化の問題も迫ってきています。そのうえ、地球温暖化問題も震災以前に増して世界的に緊急な課題です。このようななか、世界のエネルギー情勢を踏まえつつ、これからの日本のエネルギー問題をどのように捉え、考えていくのか。エネルギー問題は、私たちの生活に直結する重要な問題だからこそ、現状や課題を整理する機会になればと思います。